

町内のこだわりの味をレポートします

よくばりコッコ



こだわりの卵、親鶏もかむほどに味わいが!

親子丼



代表の辻伸行さん

こっこ家を始めたのは8年前になります。養鶏場の経験から、くんせいたまごなどの加工品の販売を始めたところ、買っていかれたお客様が、すぐに食べてみようと思っても食べる場所がなく、お店の外や車の中で食べている姿に、最初は小さな小屋を作って、その中で食べてもらおうか…とも考えました。でも、こっこラーメンの試作をしていた頃でもあり、「せっかくだからお店を開いて、そこでゆっくり卵や鶏肉を味わってもらおう」と、こっこ家をオープンしました。親子丼は比内地鶏で有名な秋田県の親子丼専門店にも勉強に行って、そこでの調理方法や材料の配合などを参考にさせていただきました。オープン時のメニューは、親子丼・ラーメン・焼き鳥の3品だけだったんです。最近は、つけ麺やオムカレーなどメニューも増えてきましたが、やはり人気なのは親子丼ですね。

親子丼に使用される鶏肉は、1年間育てた親鶏を使用しています。普通は、生後30～50日の若鶏を使うところが多いようですが、親鳥のしっかりとした歯ごたえや噛んだ時のうま味はたまりませんね。モモ肉の皮を炭火で軽く炙ることでよりいっそう肉が香ばしくなります。その肉とトロト

ロの卵を食べた瞬間に、フワッと炭のいい香りが口の中に広がり、親子丼のおいしさが引き立つのです。

もうひとつのこだわりは、安心・安全なものを提供することです。鶏に与えている餌は、道内産の小麦・米・米ぬか・魚粉・ホタテの貝殻などを配合しています。また、飲み水はアルカリイオン水を使ったり、加工品にも化学調味料は使っていません。

取材当日、店内にある約25の席は、入れ替わり訪れる人で常に満席状態で、たいへん賑わっていました。営業期間は4～10月。平日だと約40人、休日になると平日の3倍のお客様が訪れるそうで、道外から自転車やバイクでツーリング途中に寄られる方も多とのことでした。

辻さんからは「これからもみなさんにおいしい料理を味わってもらいたいですね。」と話していただきました。

▼問合せ 有限会社よくばりコッコ

営業時間 午前11時から午後2時【土日祝 午後3時迄】

月曜定休(祝日のときは翌日) 青山77 ☎ 27-2425

親子丼(だんご汁付き) 700円

自分を再発見したい！



JICA（国際協力）に参加する



加藤

KATO RITSUKO

律子 さん

「国際協力」そのきっかけは？

子どもの頃、大好きなテレビ番組が「兼高かおる世界の旅」。大人になったら外国を見てみたいという夢を膨らませていました。少しずつですが英語の勉強もコツコツと。そして一昨年、思い切って24年間勤めた当別の保育所を辞め、カナダのキャンモアという町へ1年間語学留学しました。ホームスティやアパート暮らしを経験し、「何とかなる」と海外ボランティアへ応募してみました。

JICA は若者をはじめとした青年海外協力隊のほか、40歳から69歳までのシニアの海外ボランティアの制度もあり、幼稚園教育を募集していたカンボジアへの希望を出したのです。様々な試験があつて、優れた技術力を持つ方、外国語を完全にマスターされた方も多く、高い競争率のようでしたが、私でも合格することができたんです。

そしてつい先日まで、福島県にある研修センターで事前訓練を受けてきました。毎日がカンボジアの言葉であるクメール語の勉強と健康管理、JICAの事業などの内容、派遣国でのストレス対策まで、缶詰状態の65日間でした。修了式では外務大臣からのメッセージが届き、日本の公人として公用パスポートで派遣されるということですから、やっぱり緊張します。

どんな仕事ですか？

現地の仕事はカンボジア政府の教育青年スポーツ省に配属され、プノンペン幼稚園で働く現地の先生のスキルアップや、カリキュラムに対してアドバイスをするということですが、詳細は行ってからですね。私は当別の保育所で子どもの手遊び、絵本の読み聞かせ、劇の指導が好きだったので、この経験を役立てたいです。カンボジアは長い内戦の

ため、有能な多くの人が殺され、教育水準も後退した国で、安全とは言えません。でも、そんな国だからこそ、子ども達の成長に関わりたかったです。

幼児教育という自分のこれまでの経験が、発展途上国の子どもたちに受け入れられれば、私自身も自らの再発見になると思います。日本とは環境が全く違う国ですから、気負わず自然体で行こうと思ってます。最後に、個人レベルではできない国際貢献も、この制度を利用することで誰でもチャンスがあるということが判りました。役場の人も会社の現役の人でも現職参加する道があります。JICAの国際協力による経験は、地域のためにも世界の平和のためにも有意義だと思います。

(9月14日取材)

加藤律子（若葉在住）

JICAのシニア海外ボランティアでカンボジアに派遣、9月26日に出発し、任期は2カ年